



ふくやま 草戸千軒ミュージアム

ニュース

～第140号～

広島県立歴史博物館



くさどつきー せんちゃん

HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

広島県立歴史博物館開館 35 周年記念

「広島県草戸千軒町遺跡出土品」重要文化財指定 20 周年記念
「菅茶山関係資料」重要文化財指定 10 周年記念

令和6年度
夏の企画展

名宝が織りなす歴史物語

—広島県の国宝・重要文化財Ⅳ—



国宝 絹本著色普賢延命像(部分)
持光寺蔵 画像提供:尾道市 撮影:村上宏治

広島県で一番最近の国宝指定



重要文化財 木造狛犬(吽形)
御調八幡宮蔵 画像提供:三原市教育委員会

室町幕府8代将軍足利義政の寄進と伝わる狛犬

令和6年度夏の企画展では、「ひろしまの名宝」として広島県内にある国宝・重要文化財を皆様にご紹介する展示会を開催します。

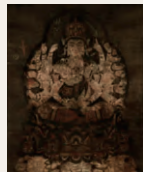
広島県の風土と歴史に育まれた文化財、そして日本の歴史を物語る文化財。これらは、定期的に公開されているものもありますが、中にはめったに見ることのできない名宝もあります。

今回の展示では、国宝1件、国重要文化財11件、広島県重要文化財14件などをご覧ください。ここでは、その中から注目資料の見どころを紹介します。

展示の内容は次のページへ ▶▶

表紙の
写真の
説明

絹本著色普賢延命像〔国宝〕



左

昭和42年(1967)に重要文化財に指定され、その後の保存修理の際に、「延命像 仁平三年四月廿一日供養」という文字が確認された(仁平三年は1153年)。平安時代の仏画の中で年代が書かれた数少ないものであることから、昭和50年(1975)に国宝に指定された。描かれている普賢延命像は、人の寿命を延ばすための密教の儀式を行うときの本尊。

木造狛犬(吽形)〔重要文化財〕



右

阿形とともに、一対で指定されている。元は全身に彩色が施されていたようであるが、現状では一部に痕跡が残るのみである。室町幕府第8代将軍足利義政が寄進したものと伝えられる。かつて修理の際には、腹部に「嘉吉(1441~1444)」の年号があったといわれているが、現在は確認できない。



田邊寺蔵 福山城博物館寄託 画像:当館撮影

丸輪〔広島県重要文化財 廃和光寺塔址出土遺物〕

丸輪は塔の頂部にある相輪の一部で、九つの輪の装飾。福山市田邊寺の門前で昭和9・10年に行われた発掘調査で出土した。和光寺は奈良時代の開基とされ、平安時代には空海によって塔が建立されたと伝えられる。



横帯文銅鐸

〔重要文化財 安芸福田木ノ宗山出土青銅器〕
弥生時代中期後半から後期初頭頃の銅鐸。鐸身に眼のような文様が鑄出されていることから、邪視文銅鐸・壁邪文銅鐸などとも呼ばれる。広島市東区福田で出土。

個人蔵 広島市寄託 画像:当館撮影

木造女神像(四号像)

〔重要文化財 木造神像・木造隨身立像〕
男神5軀、女神5軀、童子形1軀、隨身像4軀からなる。

四号像は、坐像の中では最も大きく、裾の広い威厳のある姿などからも、主要な神であった可能性がある。平安時代末期(12世紀後半)の特徴を有する。

木造阿弥陀如来立像

〔広島県重要文化財〕
肉身部の金色(金泥)は後の彩色だが、着衣の彩色や様々な文様はほぼ当初のものを残している。

平成24年度に行われた保存修理で、足の柄から墨書銘が確認され、正中2年(1325)に制作されたことや、制作者は美作国の法橋宗誓(又は宗担)であったことなどが明らかになった。



常称寺蔵 画像提供:尾道市 撮影:村上宏治



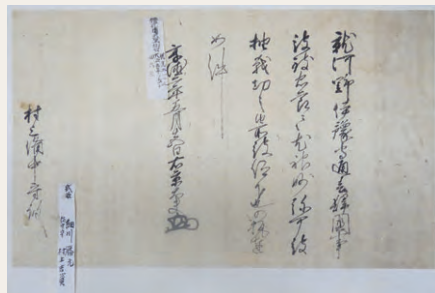
南宮神社蔵 府中市教育委員会寄託 画像提供:文化庁

室町将軍家御教書

〔広島県重要文化財 紙本墨書因島 村上家文書〕

享徳2年(1453)、管領細川勝元が、将軍足利義政の意を受けて、村上吉貞の忠節を賞し、ますますの戦功を励むよう伝達した文書。

同じ頃、村上氏が、細川勝元と敵対する大内氏からも厚遇されていたことを示す文書も残されている。後の応仁の乱では、細川勝元は東軍の大將、大内氏は西軍の武將として対立するが、村上氏は彼らから重要視される存在であったことがうかがえる。



個人蔵 画像提供:尾道市 撮影:村上宏治



紙本墨画淡彩四季山水図 六曲屏風
〔重要文化財〕

周文の作と伝わる四季山水図。周文は、15世紀の人物で、雪舟の師として知られる。左の写真は右隻で、右端の第一扇から左に向けて、春から夏の情景を描く。隅金具と鉄に本図が伝来した毛利家の家紋が表されている。

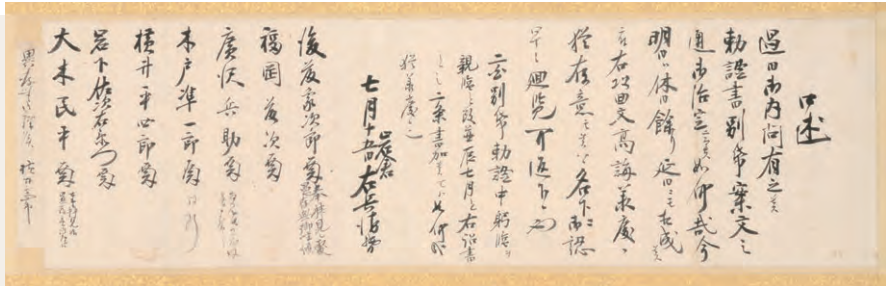
所蔵・画像提供:ウッドワン美術館

岩倉具視伺書・回状

〔重要文化財 岩倉具視関係資料〕

慶応4年(1868)7月、岩倉が東京遷都の詔書案に対して意見を求めた伺書。宛先は、後藤象二郎や木戸孝允ら、当時の参与であった土佐・長州・薩摩などの藩士7名。

所蔵・画像提供:海の見える杜美術館



小学生のみなさんへ

昔のものにはナゾがいっぱい。会場にあるヒントを手がかりに、いろいろな発見をしてみよう。ワークシートを用意して待っているよ。夏休みの自由研究に使ってね!!

広島県立歴史博物館開館 35 周年記念

〔広島県草戸千軒町遺跡出土品〕重要文化財指定 20 周年記念
〔菅茶山関係資料〕重要文化財指定 10 周年記念

令和6年度
夏の企画展

名宝が織りなす歴史物語

—広島県の国宝・重要文化財Ⅳ—

会期 令和6年7月12日(金)▶9月1日(日)

前期／7月12日(金)▶8月4日(日)

後期／8月6日(火)▶9月1日(日) ※一部資料の入替えあり

- 開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※ただし、7月12日の入館は、午前10時から。
- 休館日／月曜日(ただし、7月15日及び8月12日は開館。)、7月16日(火)
- 入館料／一般1,000円(800円)、大学生・高校生500円(400円)、中学生・小学生350円(280円)
※()は団体料金(20名以上)

■ 関連行事

(1) 開催記念講演会

回	開催日	演題	講師
1	7月27日(土)	福山市万福寺谷銅鐸(神村銅鐸)の新資料と広島県内出土銅鐸	難波 洋三氏 (独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所客員研究員)
2	8月10日(土)	ひろしまの仏像 ― 魅力、時代、地域性 ―	濱田 宣氏 (元徳島文理大学教授)
3	8月24日(土)	歴史資料の保存と活用の現在	地主 智彦氏 (文化庁文化財第一課主任文化財調査官〔歴史資料部門〕)

※ いずれも午後2時～午後3時30分

(2) 展示解説会

7月28日(日)・8月11日(日・祝)・8月25日(日)

※ いずれも午後1時30分～午後2時30分
※ 入館料が必要

● ● ほくぶつあんこぼれ話 29 ● ●

～「中世の食文化」をめぐる草戸千軒展示室の歩き方～

■ 食材をさがしてみよう

まず、「中世の食文化」を知るために、展示品の中から食べ物の情報を探してみましょう。

発掘調査を行った草戸千軒町遺跡のゴミ捨て穴からは、動物の骨や植物の種子、市場や店で取引の際に記された木簡が見つかっています。草戸千軒展示室の復原された市場に並ぶ食材は、このような出土品に加え、史料や絵巻物に登場する食材を参考にしています。現在でも馴染みのある食材が、中世から既に食べられていたようです。ぜひ何が並んでいるか観察してみてください。



実物大復原の野菜市場



マダイの上あごの骨
(草戸千軒町遺跡出土)



大麦二斗四升二合
百四十七
木簡
(重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品)

■ 調理器具をさがしてみよう

次は、復原された家屋に入り、台所にある調理器具をご覧ください。包丁・まな板・すり鉢などは、現在のものと形があまり変わりませんが、ほかに見たことがない道具も見つかるでしょう。

すり鉢が使われるようになるのは中世からで、山芋や味噌といった、すりつぶしたり、混ぜたりする料理が作られ始めるようになります。これは、「中世の食文化」の大きな特徴です。



土器鍋

土釜

すり鉢・すりこぎ

かまど

風炉

調理器具

包丁

(重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品)

(重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品)

■ 中世の食事を覗いてみよう

最後に、食事を覗いてみましょう。3軒ある職人の家屋の居間には、めでたい日に食べられる「ハレの日の食事」、普段食べる「日常の食事」、肉や魚を使わない「精進料理」が並べられています。

それぞれの食事が、下の写真のどれに当てはまるかを選んで、●—●をつないでみましょう。答えはページ下部にあります。

①ハレの日の料理

②日常の料理

③精進料理

① 塗師の家



- ・麦と米のごはん
- ・ニラと若布のすまし汁
- ・そうめん
- ・高野豆腐
- ・フキのおひたし

② 足駄づくりの家



- ・麦と米のごはん
- ・蜆とセリのすまし汁
- ・芋づるとささげの塩づけ
- ・ハゼ

③ 鍛冶の家



- ・米のごはん
- ・蛤とみつ葉のすまし汁
- ・タイ
- ・昆布、ゴボウ、芋づるの煮しめ
- ・タコのなますしめ
- ・しょうが



わかったかな？
展示室に確かめにきてね♪



「食文化ミュージアム」 認定施設に登録されました！

「食文化ミュージアム」は、日本が誇る多様な食文化を次の世代に継承し、国内外へ広く発信するための取組の一つです。ウェブ上に仮想ミュージアムを公開し、そこで日本の食文化に触れることで、実際に各施設を訪れ、地域の食文化を学び、体験する機会につなげることを目的としています。

当館は、「中世の食文化」への学びを提供する文化施設として、認定施設に登録されました。

【答え】①—c ②—b ③—a

博物館アラカルト 31

寛政6年(1794)夫婦で観光旅行 ご当地グルメを楽しむ

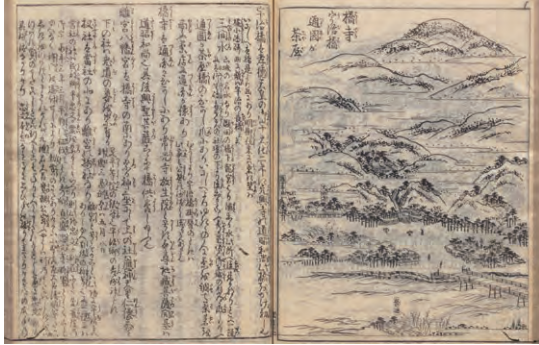


写真1 『都名所図会』巻二



写真2 『伊勢参宮名所図会』巻二



写真3 『伊勢参宮名所図会』巻二



写真4 『伊勢参宮名所図会』巻三

写真は国立公文書館デジタルアーカイブから転載

備後国神辺宿で廉塾を開いた菅茶山^{かん ちや ざん}は、寛政6年(1794)に妻の宣^{のぶ}とともに、半年ほどかけて旅行を楽しみました。この長期にわたる旅行は、茶山が隠居したことで、可能となりました。茶山が47歳、宣が38歳の時でした。

3月15日に神辺を出立、大坂、奈良を経て、吉野で桜を見た後、京へ一時滞在し、伊勢へと向かいます。伊勢からの帰りは、名古屋から関ヶ原、彦根を抜けて京都へと帰ってきます。

この旅では、大坂、奈良、京都の有名な神社仏閣を拝観し、名所旧跡も訪ねていることが、茶山と宣の日記に記されています。

旅の楽しみには名所旧跡を巡ったり、景色を楽しむこと以外にも、ご当地の名物を味わうこともそのひとつであるのは、今もこの時代も変わりません。

ここでは、妻の宣の日記に記されたご当地グルメを楽しんだ様子を紹介します。

- ① 吉野から京都へ向かう途中の4月4日、宇治橋の近くにある茶屋通園で休憩し、お茶を喫みます。通園は、永暦元年(1160)創業の茶屋です。(写真1)
- ② 京都から伊勢へ向かう途中の4月21日、草津の乳母^{うば}が餅、目川の田楽^{でんがく}を楽しんでいます。(写真2・3)
- ③ 伊勢から名古屋へ向かう途中の5月1日、桑名(富田)^{やまぐち}の焼蛤^{はまぐり}を楽しんでします。(写真4)

写真は、『名所図会』呼ばれる江戸時代の観光ガイドブックです。名所旧跡の他にも御当地名物を図入りで紹介しています。

ここに描かれた人々と同じように、二人は旅を堪能したことでしょう。

この旅の様子は、6月2日(日)まで、近世文化展示室で紹介しています。

頼山陽史跡資料館 展示の御案内

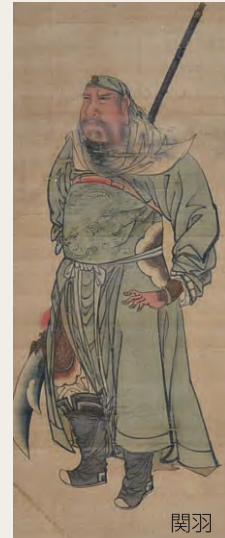
頼山陽史跡資料館では、今年度も様々な展覧会を企画しています。ここでは上半期に開催する展覧会を御案内します。

令和6年 5月23日(木)～6月30日(日)

特集展 江戸の中国趣味 (後期)

シノワズリとは、フランス語で中国風の美術工芸品、また、それらを珍重する、中国趣味を意味する言葉です。17世紀以降、欧米人の異国趣味や異国情緒を満たすものとして、家具や陶器、壁紙などに中国的装飾を取り入れることが流行しました。

江戸時代の文人墨客たちにとって、中国の歴史や文化は理想であり、憧れであり、お手本でもありました。彼らの作品は唐様と呼ばれ、中国の歴史と文化への憧れが投影されています。本展では、彼らの中国文化への傾倒ぶりを今に伝える作品から紹介します。



関羽・張飛・玄德公図 渡辺南岳筆・菅原胤彦筆 (竹原・春風館蔵)

■ 入館料 / 一般200円(160円)、大学生150円(120円)、高校生以下及び65歳以上は無料 ※ ()は団体料金(20名以上)

名刀に挑む! 令和6年 7月12日(金)～9月1日(日) 企画展 刀匠久保善博の世界

頼山陽史跡資料館では、毎年現代刀に特化して刀剣の展覧会を開催し、県内で活躍する刀匠の作品を中心に紹介しています。

今年度は、広島県の無形文化財で全日本刀匠会副会長の久保善博刀匠(庄原市西城町在住)を特集します。久保刀匠は、これまでに新作名刀展で最高賞となる高松宮賞を三度受賞し、無鑑査刀匠となるなど、現代の卓越した名工の一人です。本展では、作刀を志してから今日に至るまでの久保刀匠の足跡をたどり、卓越した作刀技術とその目指す世界を紹介します。



久保善博刀匠 脇差 銘 善博

■ 入館料 / 一般300円(240円)、大学生・高校生220円(180円)、中学生・小学生150円(120円) ※ ()は団体料金(20名以上)

■ 会場 / 頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5-15)
TEL:082-298-5051

■ 時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日 / 月曜日(ただし祝日は開館し、翌平日休館)



◀ 頼山陽史跡資料館
ホームページ

博物館 掲示板

夏休みのこどもを対象としたイベントです。みんなで、応募しよう!



1 夏休みだよ! こども博物館教室

要申込(対象:小学生・中学生)
※小学生は保護者の同伴が必要です

教室名	実施日時	内容	定員	材料費
藍染をしよう	8月3日(土) ①10:00~11:30 ②13:00~14:30	備後地方を代表する伝統産業「藍染」で、オリジナルのハンカチを作ろう!	20名 (各回10名)	300円
い草を織ろう	8月10日(土) 10:00~15:00	ミニ織機でオリジナルランチョンマットを作ろう!	14名	無料
ミニ畳を作ろう	8月17日(土) 10:00~12:00	日本の伝統的な住居に欠かせない「畳」の作り方を、かわいいミニサイズで体験してみよう!	20名	500円

2 草戸千軒お化け屋敷

要申込(対象:小学生)
※保護者(18歳以上)の同伴が必要です

実施日時	内容	定員	参加費
8月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土) 二部制 ①18:00~19:00 ②19:00~20:00	「草戸千軒展示室」を会場としたお化け屋敷で、室町時代の夜を体験してみよう!	各日15組 (一組4名以内)	無料

いずれも、「広島県電子申請システム」でお申込みいただき、申込多数の場合は抽選を行います。
申込開始時期は6月中旬、申込締切は7月上旬を予定しています。
申込内容の詳細や、申込開始日・締切日、参加決定のお知らせなど、詳しくは、当館ホームページをご覧ください。



広島県立歴史博物館友の会からのお知らせ!

あなたも、友の会の会員になりませんか?

友の会では、令和6年度の会員を募集中です。
友の会の会員には、博物館が主催する展示会を無料で観覧できるなどの特典があります。

歴史や文化に興味をお持ちの方は、ぜひ友の会にお入りください!
友の会の活動については、QRコードからご確認ください。

年会費は次のとおりです。

- 一般会員 2,000円
- 学生会員 1,000円
- 家族会員 3,000円 (同居家族5名まで登録できます。)
- 賛助会員 7,000円 (会員証4枚と企画展の図録を送付します。)



◇令和6年度の博物館の組織と職員です。よろしくお願ひします。

館長 宮野 学		歴史博物館アドバイザー 白井 比佐雄		(分館)	
総務課		学芸課		草戸千軒町遺跡研究所	
課長	桧山 敦	課長	石橋健太郎	(兼)所長	石橋健太郎
主査	川相 浩人	主任学芸員	◎木村 信幸	主任学芸員	尾崎 光伸
主任	橋高 真理	主任学芸員	岡野 将士	学芸員	◎富田 啓貴
文化施設事務従事員	瀬戸 美幸	主任学芸員	渡部 史之	学芸員	杉山 歩夢
ワークサポート職員	楨原 葵	文化施設事務従事員	細谷 紗桜	学芸員(エルダー)	大上 裕士
				文化施設事務従事員	吾田 朱里
					頼山陽史跡資料館
				(兼)館長	坂光 秀和
				(兼)主査	◎佐伯 匡芳
				(兼)主査	井上 円
				主査(シニアスタッフ)	◎篠永美千代
				主任学芸員	花本 哲志
				学芸員	川邊 あさひ
				主任(エルダー)	井上 栄三
				(兼)主事	矢野 琢真
				(兼)主事	三歩 千晴
				文化施設事務従事員	井上麻由子

◎は新任。その他、広島県立歴史民俗資料館学芸員が、当館学芸員を兼務しています。(4月1日現在)

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第140号

編集・発行

令和6年5月25日



ふくやま 草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/
X(エックス) https://twitter.com/hiroshima_prhk



▲ホームページ



▲X(エックス)